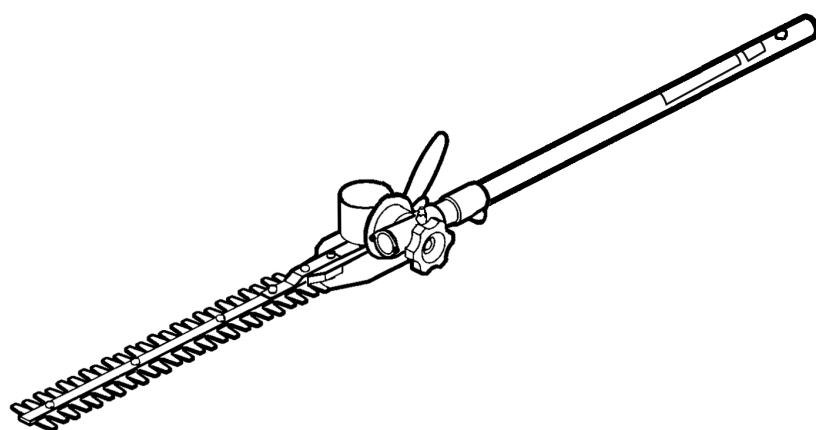


取扱説明書

マルチカッター ヘッジトリマアタッチメント

BMCA-HTS



この度は、当社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

- この取扱説明書には、事故を防ぐ重要な注意事項と本製品の取扱方法が指示されています。
- 本製品を使用する前に本取扱説明書を熟読し、十分理解された上で、ご使用ください。
- 本取扱説明書は必要なときにすぐに参照できるよう、大切に保管してください。
- 本取扱説明書が損傷や紛失により読めなくなった場合は、ご購入の販売店からお買い上げください。

お知らせ

- 本製品は日本国内専用です。日本国内のみでご使用ください。



株式会社丸山製作所

はじめに

- 本製品はエンジンで刈刃（ブレード）を高速で往復動させて、枝の太さ 4.5 mm 以下の生垣刈を目的とした製品です。
- 目的以外の作業への使用や改造を行った場合は、保証の対象外となります。生垣刈以外の作業や改造が原因での事故に関して、一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 製品の仕様変更などにより、ご購入の製品と本書の内容が一致しない場合がございます。
- 本取扱説明書は一般使用者および業務で本製品を使用される方、現場責任者を対象としています。
- 関係法令（消防法、廃棄物処理法、騒音規制法や騒音に関する条例）を遵守してください。
- 一般使用者の方で初めてヘッジトリマを使う方、または本製品の使用に自信の持てない方は、使用前に熟練者から指導を受けてください。

安全に作業するために

■ 使用目的

本製品は健康な 16 歳以上の人、枝の太さ 4.5 mm 以下の生垣など庭木の刈り込みやせん定をすることを目的とした製品です。けがや本製品の破損のおそれがあるため、目的以外の作業（金属や硬いものの切断など）へ使用しないでください。

■ 警告表示について

本取扱説明書では、特に重要と考えられる取り扱い上の注意事項について次のように表示しています。

-  **危険** … もし警告に従わなかった場合、死亡または重傷に至るもの。
-  **警告** … その警告に従わなかった場合、死亡または重傷に至るおそれがあるもの。
-  **注意** … その警告に従わなかった場合、けがに至るおそれがあるもの。および本製品や周辺の物的損害が発生するおそれがあるもの。

■ その他の表示について

お知らせ … 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要な注意事項。

お願い …… 必ず実施していただきたい推奨事項。

■ シンボルマークについて

本製品および取扱説明書に下記のシンボルマークを掲載しています。このシンボルマークの意味をご理解の上で、ご使用ください。

-  製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止する表示マーク。
-  製品の取り扱いにおいて、発火、破裂、高温などに関する注意事項であることを示す表示マーク。
-  製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する表示マーク。

 	ご使用前に、取扱説明書をよく読んで理解し、使用すること。		排気ガスは人体に有害です。室内などの換気の悪い場所では運転しないこと。
			やけど防止のため、運転中およびエンジン停止後しばらくは、シリンダやマフラなどの高温部に触らないこと。
 	作業中は保護メガネ、耳栓、ヘルメットなどの防護具を必ず装着すること。		刈刃には触れないこと
			混合燃料は引火性が高いため、給油の際は必ずエンジンを停止すること。また、こぼれた燃料は必ず拭き取ること。
	感電の危険があるので、電線の近くでは作業を行わないこと		作業中は 15m 以内に人、動物が近付かないようにすること。複数台で作業するときもこの距離を守ること。
	混合燃料を使用すること。		

本製品は刈刃（ブレード）を往復動させて作業する機械です。取扱方法を誤ると事故を招きます。下記の注意事項を必ず守ってください。

 危 険	
	斜面直上作業の禁止 ■ 斜面直上での作業はしないでください。 足を滑らせ体が刃物に触れ、死亡事故に至ります。
	下記の項目を必ず守ってください。 守らないと火災や事故に至ります。 ■ 混合燃料は引火性の高い燃料です。給油時や本製品を点検・整備するときは、近くで喫煙など火を使わないでください。 ■ 混合燃料を給油するときは、エンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。 ■ 作業中に混合燃料が漏れている場合は、火災に至るおそれがあり大変危険です。直ちにエンジンを停止して、ご購入の販売店に修理を依頼してください。 ■ 静電気による発火のおそれがあるため、混合燃料の保管・運搬には樹脂製の容器を使用しないでください。 ■ 混合燃料の運搬には金属製燃料缶を使用してください。
	下記の項目を必ず守ってください。 守らないと火災や事故に至ります。 ■ 作業を中断するときは、エンジンを停止してください。 ■ 作業の合間に本製品を置くときは、エンジンを停止してください。 ■ エンジンは停止直後も高温のため、可燃物のない場所に置いてください。 ■ 排気ガスは高温のため、排気ガスが放出される方向にある枯れ枝・枯葉などの可燃物を取り除いてから作業してください。
	半径 15 m以内を危険区域として、作業中は下記の項目を守ってください。 守らないと刈刃からの飛散物や刈刃との接触により、死亡事故や失明などの重傷に至ります。 ■ 危険区域に人や動物を入れないでください。 ■ 危険区域に人や動物が入ったときは、エンジンを停止してください。 ■ 作業者に近づくときは、危険区域外から笛などを使って作業者に合図し、エンジンの停止を確認してから近づいてください。 ■ 2 名以上で作業するときは、お互いの危険区域に入らないでください。



警告

使用目的以外の使用禁止

- 本製品は枝の太さ 4.5 mm以下の生垣など庭木の刈り込みやせん定を目的とした製品です。目的以外の作業には使用しないでください。
目的以外に使用すると、刈刃との接触や刈刃からの飛散物により重傷に至るおそれや、他人に傷害を与えるおそれがあります。また、本製品が破損するおそれもあります。

改造禁止

- 本製品の改造は行わないでください。
安全装置が機能しなくなる、本製品の破損や飛散物により事故や重傷に至るおそれがあります。
- 本製品を他の製品などに組み込んで使用しないでください。
安全性を損ない事故や重傷に至るおそれがあります。

部品取り禁止

- 本製品からエンジンなどの組立部品や部品単体を取り外して、他の製品で使用しないでください。
他の製品に使用すると本来の性能が発揮できないだけでなく、使用した製品の破損、事故や重傷に至るおそれがあります。

使用者に関する注意事項

- 心臓ペースメーカーを使用している方は、本製品を使用しないでください。
使用すると心臓ペースメーカーが誤作動するおそれがあります。
- 体調の悪いとき、酒類を飲んだときは作業しないでください。
正しい使い方ができず事故や重傷に至るおそれがあります。
- 16 歳未満の人、妊娠している人は作業しないでください。
正しい使い方ができず事故や重傷に至るおそれがあります。

使用環境に関する注意事項

- 降雨時や落雷のおそれがあるとき、夜間など見通しが悪いときは作業しないでください。
感電、被雷、転倒、転落など事故や重傷に至るおそれがあります。
- 足元が滑りやすい場所、急傾斜地では作業しないでください。
転倒してけがに至るおそれがあります。
- ハシゴに乗っての作業や、木に登っての作業など、足元が不安定な場所では作業しないでください。
転倒や転落などによりけがに至るおそれがあります。
- 本製品を室内などの換気の悪い場所では運転しないでください。
一酸化炭素中毒に至るおそれがあります。

刈刃に関する注意事項

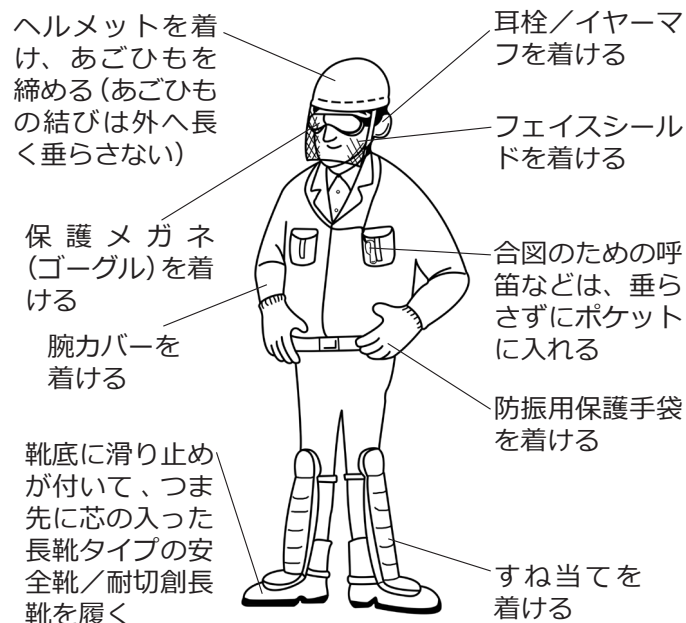
- 刈刃に手や足を近づけないでください。また、エンジンが停止していても、素手で刈刃に触らないでください。
ヘッジトリマの刈刃はとても鋭利ですので、接触によりけがに至るおそれがあります。



警告

作業着、保護具について

正しい服装の一例



■ 袖や裾のしまりの良い長袖、長ズボンの衣服を着用し、ネクタイやネックレスなどのアクセサリは外してください。また、髪の毛は肩より上でまとめてください。

回転部に巻き込まれ、けがに至るおそれがあります。

■ 保護メガネ(ゴーグル)、フェイスシールド、耳栓やイヤーマフ、ヘルメット、保護手袋(防振用)、安全靴、すね当てなどの保護具を必ず装着してください。

刈刃との接触や刈刃からの飛散物、本製品からの作業音により、視覚障害、聴覚障害、けがなどの重傷に至るおそれがあります。

本製品を他人に貸すとき

■ 本製品を他人に貸す場合は取扱方法をよく説明し、取扱説明書をよく読むように指導してください。

正しい使い方ができず事故や重傷に至るおそれがあります。

注意

始業点検の重要性

■ 作業の前に始業点検を行ってください。

作業前に点検を行い、処置することにより故障や事故を未然に防ぐことができます。詳細は17ページの「4. 始業点検」を参照してください。

警告ラベルの取り扱い

！ 注 意



下記の項目を守ってください。

本製品の正しい使い方を確認できず、けがに至るおそれがあります。

- 警告ラベル表面の汚れや泥をとり、いつも表示内容がはっきりと見えるようにしてください。
- 警告ラベルが損傷したときは、新しいラベルを同じ位置に貼り替えてください。
※新しいラベルについては、ご購入の販売店に部品番号で注文してください。
- 警告ラベルが貼ってある部品を交換したときは、その部品にも必ず新しい警告ラベルを同じ場所に貼ってください。

※本製品には、下の図に示す位置に下記の警告ラベルが貼ってあります。

本製品のご使用前に **1 ページの「■ シンボルマークについて」**を参照し、その意味を理解した上で、下記ラベルの表示内容を守って作業してください。また型式名、製造番号は、アフターサービスを受けるときに必要です。ご確認の上、裏表紙にメモしてください。

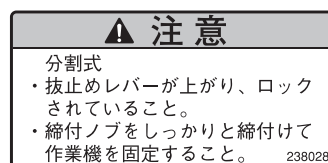
① 警告ラベル(部品番号 : 229463)



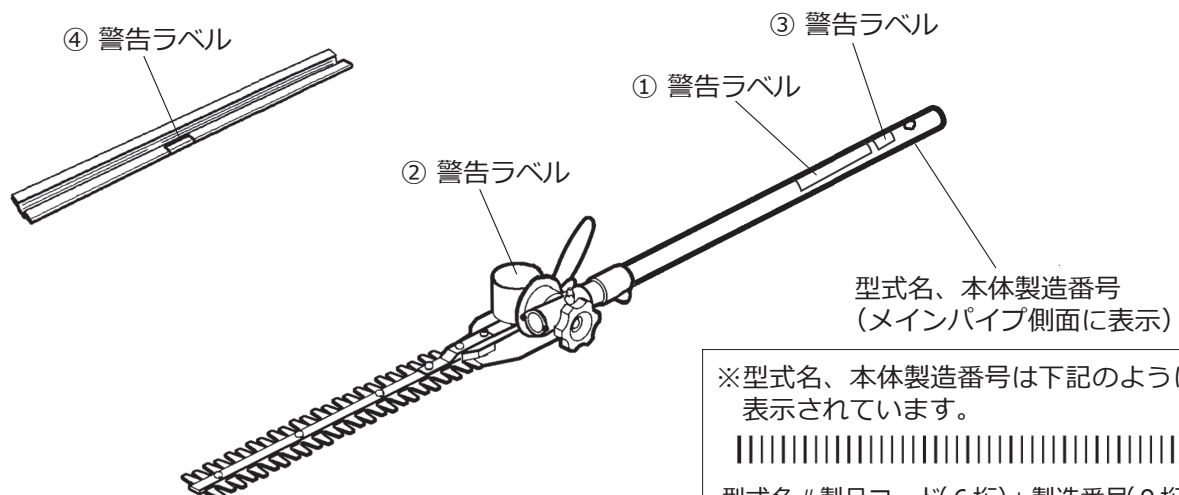
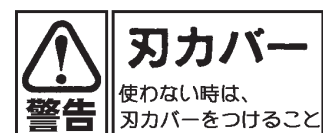
② 警告ラベル (部品番号 : 407349)



③ 警告ラベル (部品番号 : 238028)



④ 警告ラベル (部品番号 : 639369)



※型式名、本体製造番号は下記のように表示されています。

|||||

型式名 # 製品コード(6桁) * 製造番号(9桁)

振動障害の防止

お願い

- 振動障害を防止するために、本製品をお使いになる前に必ずお読みください。

振動障害とは、ヘッジトリマを使用することによって起きる職業病のひとつです。主として手を通じて振動曝露を受けることによって生じる障害です。進行した症状は回復困難であるため、作業時間管理および機体の点検・整備による予防が重要となります。下記の項目を守ってください。

【1 日の作業時間について】

- 本製品の使用については、1 回の連続作業は 30 分以内とし、作業 30 分ごとに 5 分以上の休憩を取るようになしてください。1 日の作業時間は最大でも 2 時間以内としてください。
- 定められた作業時間を守り、休憩が取れるようにゆとりを持った作業計画を立ててください。
- 1 日の作業時間について詳しく知りたい場合は、**31 ページの「1 日の作業時間について」**を参照してください。



警告



- **本製品の使用にあたり作業時間と休憩についての指示を守ってください。**
指示を守らないとレイノー現象などの振動障害に至るおそれがあります。



注意



- **作業計画にはゆとりを持たせてください。**
疲労が重なり注意力が低下し、事故に至るおそれがあります。

【使用前の点検・整備について】

※下記の点検作業が困難な場合は、ご購入の販売店、または丸山サポートセンターへご相談ください。

製造時の状態を維持するため、作業する前に必ず本製品各部の点検・整備を行い、異常がないことを確かめてください。次のような異常がある場合は速やかに使用を中止し、ご購入の販売店に点検・整備を依頼してください。

- 振動が大きくなった、異常な振動などを感じたとき
- 防振ゴムの劣化、破損、固定部のゆるみ
- ループハンドルの変形、破損
- ループハンドルと後グリップの劣化、破損
- ギヤケースのヒビ、損傷

また、下記に関しても製造時の状態を維持するため、使用前に **17 ページの「4. 始業点検」**を行ってください。

- ループハンドル取付用ネジのゆるみ
- 刈刃の割れ、曲がり、ヒビ、摩耗、損傷
- 刈刃の上下刃の隙間
- 刈刃の乾きの状態
- 刈刃のテンションスクリューとロックナットのゆるみ、摩耗
- ギヤケースのクランプノブのゆるみ

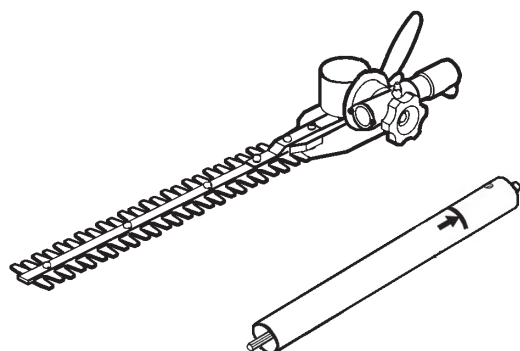
目次

▲安全に作業するために	1
警告ラベルの取り扱い	5
振動障害の防止	6
1. 梱包品と各部のなまえ	8
(1) 梱包品の確認	8
(2) 各部のなまえ	8
2. 組み立て	9
(1) ギヤケースの組み付け	9
(2) 刃カバー (ブレードカバー) の 取り付け・取り外し	10
(3) パワーユニットと アタッチメントの組み付け・分割	11
(4) 組み立て完了	12
3. 作業の準備	13
(1) 作業者の服装と保護具の装着	13
(2) 肩掛バンドの調整と使い方	13
(3) 刈刃の角度調整・格納	15
(4) 運搬の仕方	16
(5) 作業現場の整備	16
(6) 作業計画	16
4. 始業点検	17
5. 生垣刈作業	18
(1) マルチカッターの保持	18
(2) 刈刃の作動・停止	19
(3) 生垣刈作業	20
(4) 刈刃の注油	23
(5) 作業後	24
6. 点検・整備	25
(1) ギヤケースの点検・整備	26
(2) 刈刃の点検・整備	26
(3) ボルト・ネジの点検	27
(4) ジョイントパイプの点検・整備	27
7. 長期保管	28
8. 故障と対策	29
9. 転売・譲渡・廃棄	30
10. 主要諸元	31
11. オプション (純正品一覧)	32

1. 梱包品と各部のなまえ

(1) 梱包品の確認

開梱時に下図を参照して部品が揃っているか、破損や変形はないかを確認してください。問題がある場合は、ご購入の販売店にご連絡ください。



本体



クイックスタート
マニュアル/1部
(558051)

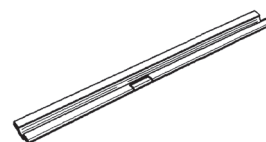


安全マニュアル
/1部
(558056)



キャップ /2 個
(215350)

※開梱時は本体に装着
されています。

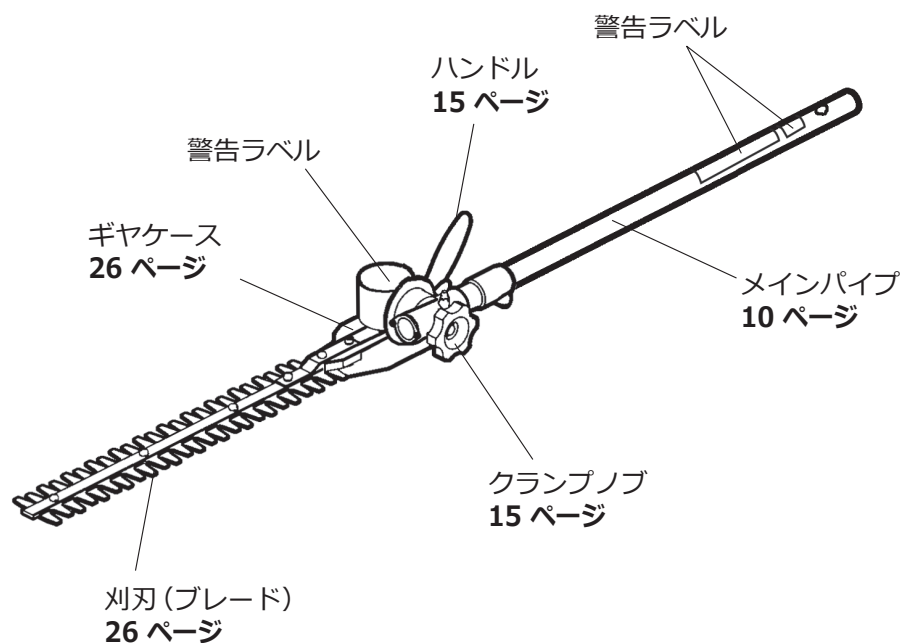


刃カバー (ブレードカバー)
/1 個
(407352)

※開梱時は本体に装着
されています。

(2) 各部のなまえ

図中に当該部品が関連する本取扱説明書のページ番号を示しています。



2. 組み立て



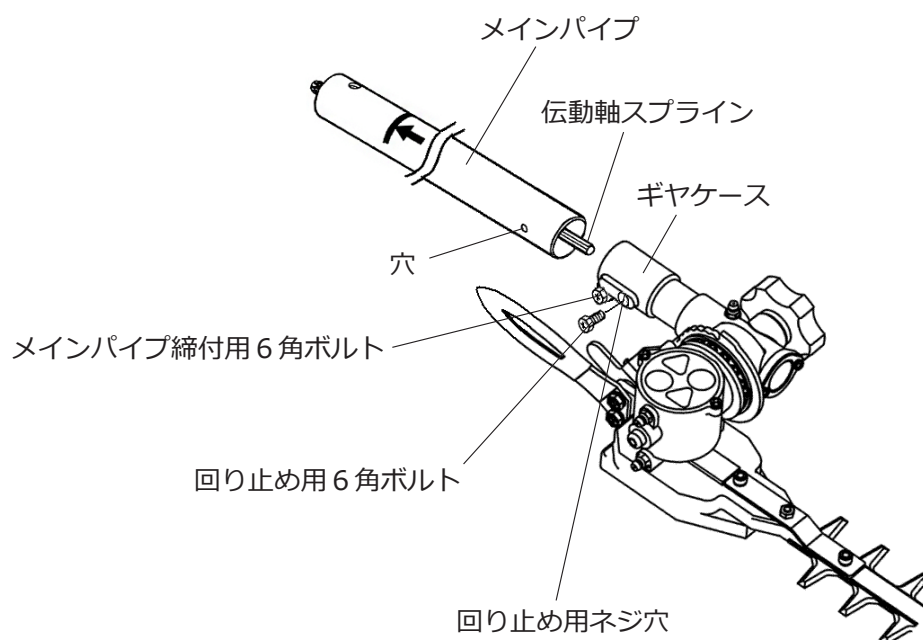
警告



■「2. 組み立て」に記載の内容を十分理解したうえで、正しく組み立ててください。
組み立てを誤ると事故や重傷に至るおそれがあります。

(1) ギヤケースの組み付け

- ① パワーユニットに付属の両口スパナを用意してください。
- ② 両口スパナでギヤケースの回り止め用6角ボルトを外してください。
- ③ メインパイプを矢印マークがパワーユニット側になるように持ち、ギヤケースの奥まで差し込んでください。
- ④ 伝動軸とギヤケースのスプラインを合せるように挿入してください。このとき、伝動軸を回しながら挿入すると、スプラインが合さりやすくなります。
- ⑤ メインパイプの穴と回り止め用ネジ穴を合せてください。
- ⑥ 両口スパナで回り止め用6角ボルトとメインパイプ締付用6角ボルトを締め付けて、ギヤケースとメインパイプを確実に固定してください。
- ⑦ 正しく組み付けられたら、伝動軸を回し、刈刃が動くことを確認してください。このとき、刈刃には絶対に触れないでください。



(2) 刃カバー（ブレードカバー）の取り付け・取り外し



注 意



- 刃カバーの取り付け・取り外しをするときは、必ず保護（耐切創）手袋を装着してください。
刃先に触れてけがに至るおそれがあります。
- 作業中以外は刈刃に刃カバーを取り付けてください。
刃先に触れてけがに至るおそれや、他の人を傷つけるおそれがあります。
- 刈刃を取り扱う際は刃先に触れないように注意してください。
刃先に触れてけがに至るおそれがあります。
- 作業を始める前に必ず刃カバーを取り外してください。
刃カバーが飛散してけがに至るおそれがあります。

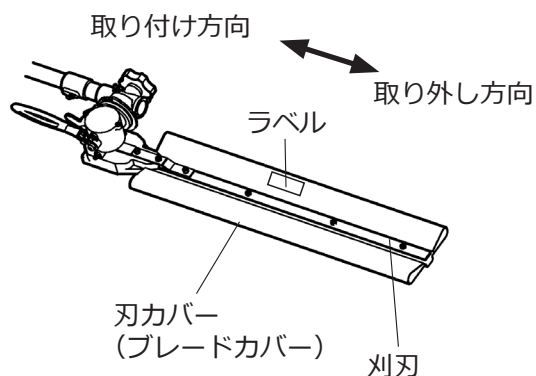
作業の前に保護（耐切創）手袋を装着してください。

■ 刃カバーの取り付け

- ① ラベルが上になるように持ち、刈刃が刃カバーの溝に沿うように合わせてください。
- ② 取り付け方向にスライドさせ取り付けてください。

■ 刃カバーの取り外し

- ① 刃カバーを取り外し方向にスライドさせ外してください。



(3) パワーユニットとアタッチメントの組み付け・分割

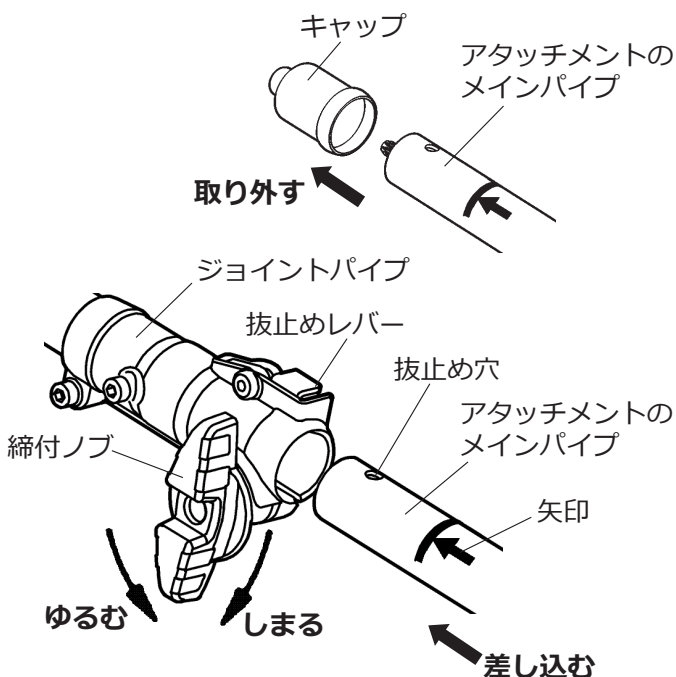
⚠ 注 意



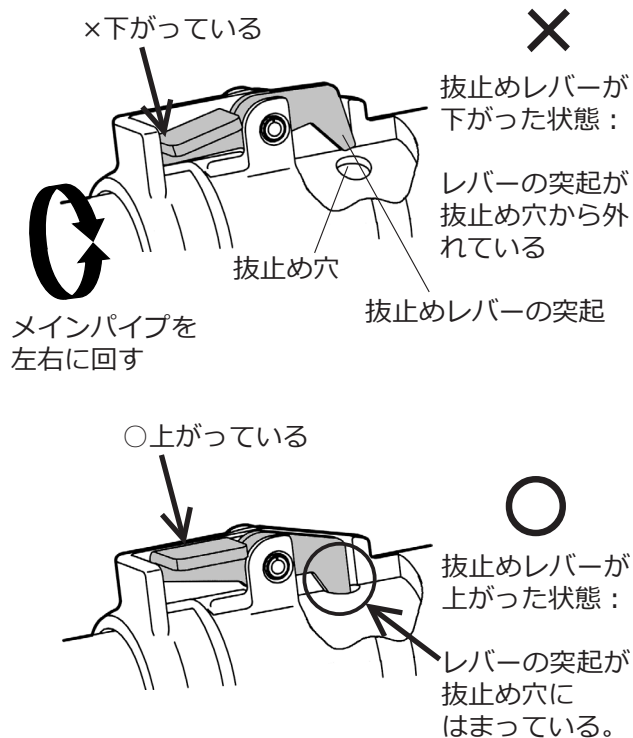
- アタッチメントの組み付け・分割時は必ずエンジンを停止してください。
思いがけず刈刃が動いてけがに至るおそれがあります。
- 抜止めレバーが下がったまま使用しないでください。
アタッチメントが外れてけがに至るおそれがあります。
- パワーユニットとアタッチメントの組み付け後、必ず締付ノブをしっかりと締め付けてください。
締め付けないとアタッチメントが外れてけがに至るおそれがあります。

1) 組み付け

- ① アタッチメントのメインパイプ端のキャップを取り外してください。作業終了後、再度分割した場合は必要になるので、なくさないように保管してください。
- ② ジョイントパイプにアタッチメントのメインパイプを差し込めるよう、締付ノブをゆるめてください。
- ③ 図のようにメインパイプの抜止め穴を上に向けて、ジョイントパイプに差し込んでください。メインパイプの矢印がジョイントパイプ端面と合うまで差し込んでください。その際抜止めレバーは自動で一旦下がり、カチッという音とともに元の位置に戻ります。
- ④ 抜止めレバーが下がったままの場合は、レバーの突起がメインパイプの抜止め穴から外れた状態です。メインパイプを左右に回転させることでレバーの突起を穴にはめることができます。
- ⑤ 締付ノブを締め付け、アタッチメントをしっかりと固定してください。

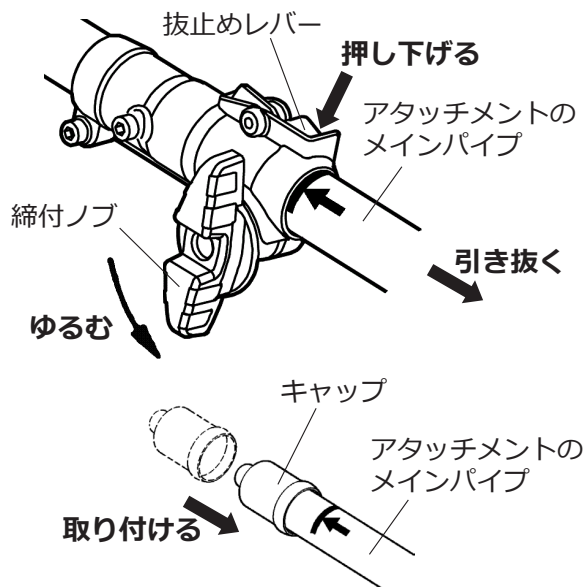


部分断面図 (実際に中は見えません)



2) 分割

- ① 締付ノブをゆるめてください。
- ② 図のように抜止めレバーを押し下げながらアタッチメントのメインパイプを引き抜いてください。
- ③ 締付ノブ、ナットの脱落防止のため、締付ノブを軽く締め付けてください。ナットはノブの反対側にあります。**27 ページの「(4) ジョイントパイプの点検・整備」**を参照してください。
- ④ キャップをアタッチメントのメインパイプ端に取り付けてください。

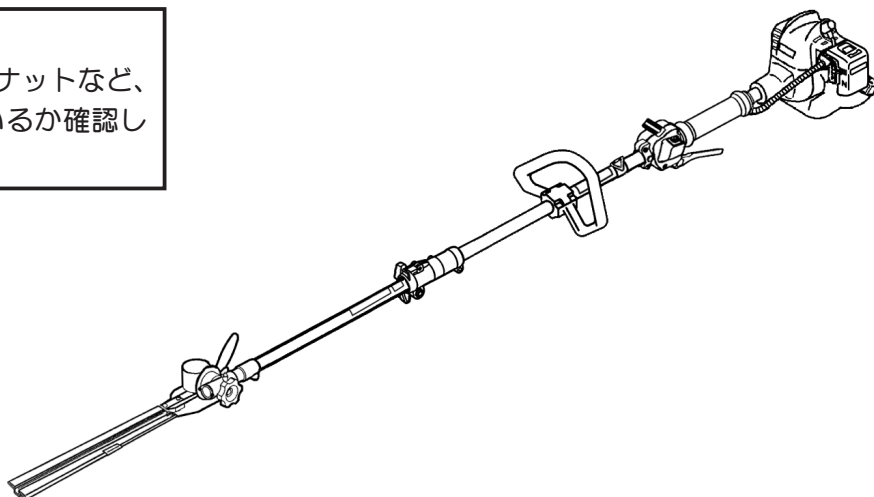


(4) 組み立て完了

これで本製品の組み立ては完了です。図のように正しく組み立てられているか、もう一度確認してください。

お願い

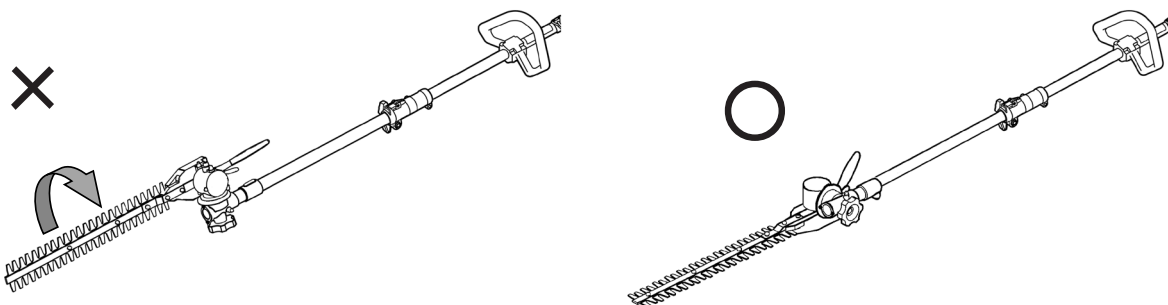
- 本製品の組立後、締付ノブ・ナットなど、しっかりと締め付けられているか確認してください。



！ 注意



- 組み付け後のアタッチメントが下記のように回転した状態の場合、11 ページの「(3) パワーユニットとアタッチメントの組み付け・分割」を参照し、組み付け直してください。アタッチメントが外れてけがに至るおそれがあります。



3. 作業の準備

お願い

- 事故やけがに備え救急箱や止血道具（タオルなど）を携行してください。応急処置が行えず、傷が悪化するおそれがあります。なお、最寄りの消防本部・消防署で実施している救命講習の講習会に参加して、応急手当の知識と技術を身に付けておくことを推奨いたします。
- 万一の事故に備えて緊急時に連絡できるようにしてください。また、家族などにも緊急連絡先（医療機関・消防署など）がわかるようにしてください。携帯電話などの緊急時の連絡手段の携帯を推奨いたします。
- ガソリンの取り扱いや生垣刈作業に取りかかる前に、発火・発煙・火災にそなえ消火器具、消火器、簡易消火器具（乾燥砂、砂をかけるためのスコップなど）を用意してください。なお、緊急時にあわてないように、消火器具などの使用方法を習得しておいてください。

(1) 作業者の服装と保護具の装着

作業に適した服装をして必要な保護具を装着してください。詳細は 4 ページの「正しい服装の一例」を参照してください。

！ 警告



- 服装は長袖・長ズボンなどを着用し、体が露出する衣服は避けてください。シャツの裾などは必ずズボンの中に入れて、作業中に引っ掛かることのないようにしてください。また、必ず保護具を装着してください。
作業に適した服装または保護具を装着しないと、死亡または重傷に至るおそれがあります。

(2) 肩掛バンドの調整と使い方

！ 注意



- 肩掛バンドは消耗品です。装着前に切れ、ほつれなどの損傷がないことを確認してください。損傷などがあれば交換してください。
損傷があるものを使用すると、本製品が外れてけがに至るおそれがあります。

1) 肩掛バンドの装着と調整

- ① 肩掛バンドを図 1 のように装着してください。
- ② 図 2 のように、肩掛バンドの引掛金具を本製品のハンガーに引っ掛けてください。
- ③ 本製品を体の右側に吊り下げ、ループハンドルが握りやすいようにバンドの長さを調整してください。



図 1

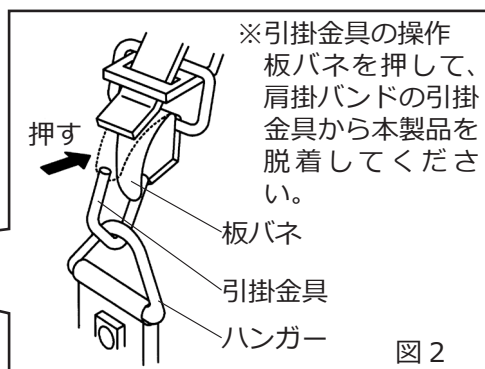


図 2

2) 緊急離脱装置の使い方

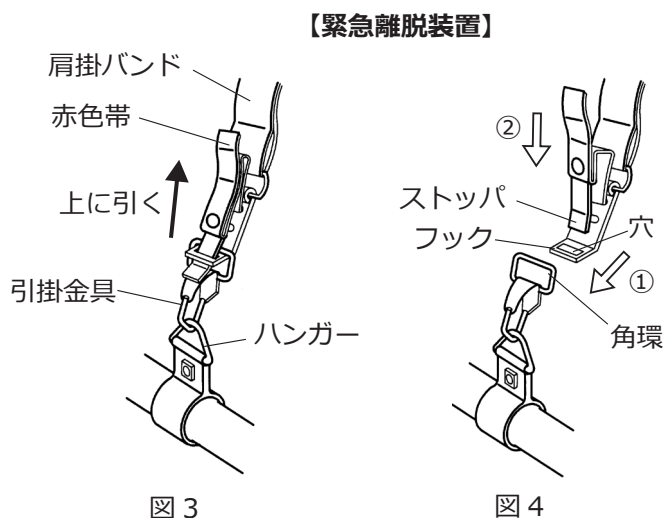
肩掛バンドの緊急離脱装置は図 3 のように赤色帯を上引くと、本製品が肩掛バンドから離れます。作業の前にエンジンを停止した状態で、安全な場所で操作の練習をしてください。

※緊急離脱装置の組み立て方

図 4 の矢印①の方向からフックを角環に通し、矢印②の方向からストッパをフックの穴に挿入してください。

お願い

- 緊急離脱装置は、火災などの緊急時に体から本製品を離す必要がある場合に使用してください。緊急時以外は使用しないでください。



(3) 刈刃の角度調整・格納



警告



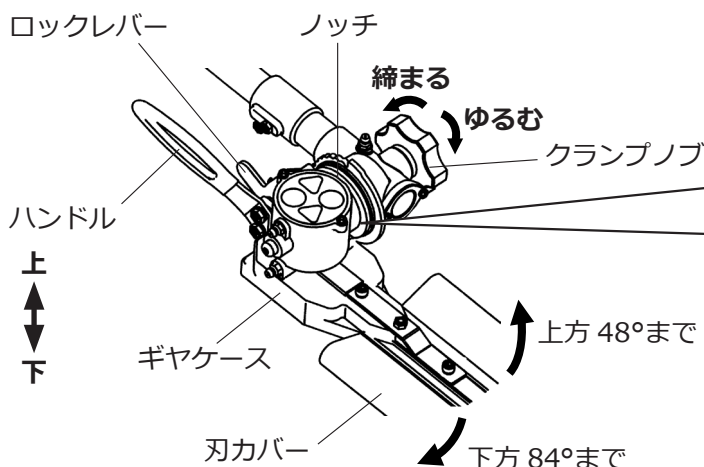
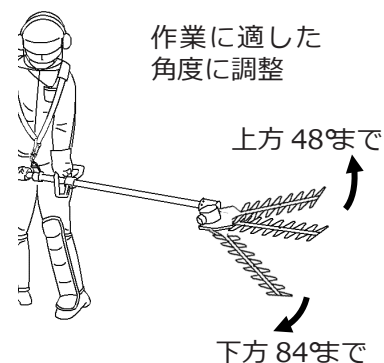
- エンジンのかけたまま刈刃の角度調整は行わないでください。
刈刃が突然動き出すなどして体に接触すると、死亡または重傷に至るおそれがあります。



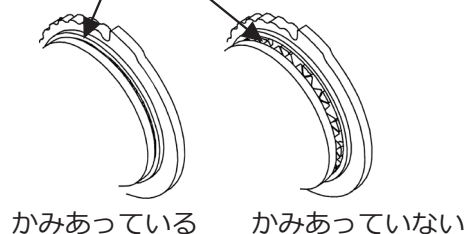
- 刈刃を取り扱う際は必ず保護（耐切創）手袋を装着してください。
刃先に触れてけがに至るおそれがあります。

1) 角度調整

- ① クランプノブをいっぱいにゆるめてください。クランプノブをいっぱいにゆるめた状態でないと、刈刃角度の調整はできません。
- ② ハンドルを握り上下させ、作業に適した角度に調整してください。この際、ロックレバーを操作しないでください。
- ③ クランプノブを締め付けて確実に固定します。
- ④ クランプノブの締め付け後、ノッチが確実に噛み合っているか確認してください。噛み合っていない場合はクランプノブをゆるめ、ノッチが噛み合っていることを確認し、クランプノブを確実に締め付けてください。



ノッチが噛み合っているか確認する



お願い

- ロックレバーは操作しないでください。
- 刈刃角度の調整後、ノッチが噛み合っているか必ず確認してください。

2) 格納

ヘッジトリマアタッチメントは、下記手順で折りたたんで格納することが可能です。

- ① クランプノブをいっぱいにゆるめてください。
- ② ロックレバーを下方に押しながらハンドルを握り、刈刃を上方に 180°回転させてください。
- ③ 折りたためたらクランプノブを締め付けて固定してください。
- ④ クランプノブの締め付け後、ノッチが確実に噛み合っているか確認してください。噛み合っていない場合はクランプノブをゆるめ、ノッチが噛み合っていることを確認し、クランプノブを確実に締め付けてください。

お願い

- ロックレバーは折りたたむとき以外には操作しないでください。

(4) 運搬の仕方

本製品を作業場所まで運ぶときは、エンジンの停止を確認し、下記の注意事項を守ってください。

 危 険	
	■ 混合燃料の運搬・保管には金属製燃料缶を使用してください。 樹脂製の容器は静電気により発火し、火災に至ります。
 注 意	
	■ 自転車やバイクなど、2 輪車での運搬は不安定で危険のため、決して行わないでください。 落下や接触などにより自身や他人がけがに至るおそれがあります。
	■ 燃料タンクは空にしてください。 静電気などにより発火するおそれがあります。
	■ 本製品のエンジンが停止直後の場合は、高温部分には触らないでください。 高温部への接触により、やけどに至るおそれがあります。
	■ 刈刃には刃カバーを付けてください。 刈刃に接触し、けがに至るおそれがあります。
	■ 軽トラックなどの車両で運搬する場合は、本製品を確実に固定してください。 落下や接触などによりけがに至るおそれや、他人に傷害を与えるおそれがあります。

(5) 作業現場の整備

作業現場にある障害物は事前に取り除いてください。

 警 告	
	■ 作業現場の状況（地形、足場の安定度、障害物との距離、周囲の危険度など）をよく確かめ、移動可能な障害物は取り除いてください。特に足元が不安定になりそうな物は取り除いてください。 転倒や障害物との接触で、事故や重傷に至るおそれがあります。
	■ 生垣刈を行う現場に落ちているゴミ（空缶、空ビン、鉄クズ、針金、ひも、粗大ゴミなど）や砂利、小石など、作業の障害になるものを取り除いてください。 これらを取り除かないと飛散したり、跳ね返ったりして事故や重傷に至るおそれがあります。
	■ 作業現場に電線管・水道管やガス管などの埋設物や、移動できない障害物がないことを作業前に十分に確かめてください。撤去できない障害物などがある場合は、目印を付け近づかないようにしてください。 障害物の近くで作業すると事故や重傷に至るおそれがあります。

(6) 作業計画

作業を行う前にあらかじめ作業場所、作業手順（作業の準備・実作業・後片付けおよび日程などを含む）、緊急時の対応、作業者の配置、合図の方法などを決めた作業計画を立ててください。また、必要に応じて事前に打合せを行うなどにより、関係者に周知するとともに、その指揮する者を選んでください。

 注 意	
	■ 作業計画を立て遵守してください。 長時間の振動への曝露により振動障害に至るおそれや、疲労の蓄積を招くおそれ、さらに緊急時の対応が遅れ被害が拡大するおそれがあります。

4. 始業点検

その日の作業を始める前に行う点検が始業点検です。作業前に点検を行うことにより、事故や故障を未然に防止することができます。非常に大切な点検のため、下記の一覧表を参照して必ず実施してください。もし、ご自身での点検に不安のある方や交換・修理が必要な場合は、ご購入の販売店にご相談ください。

始業点検一覧表

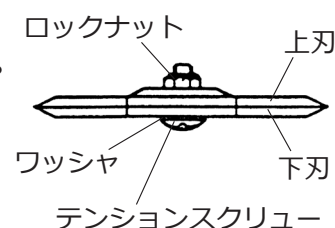
点 検 項 目		処 置	参 照 先
刈刃	割れ、曲がり、ヒビ、カケ、摩耗がないか	交換	
	上下刃の隙間は適正か	隙間を調整する	26 ページの「(2) 刈刃の点検・調整」
	乾きの状態	注油する	23 ページの「(4) 刈刃の注油」
	テンションスクリュー、ロックナットの摩耗	交換	
ギヤケース	ギヤケースにヒビ、損傷がないか	交換	
メインパイプ	メインパイプに曲がりやひび割れがないか	交換	
その他各部	各部にゆるみ、組み立てに異常がないか	増し締め 正しく組み立てる	



警 告



- 始業点検一覧表に基づき点検を実施し、必要な場合は処置を施してください。
必要な処置をしないと死亡または重傷に至るおそれがあります。
- 刈刃の点検をして損傷（刈刃の割れ、過熱による変色、カケ）のある刈刃は交換してください。
刈刃の状態が悪いものを使用すると、刈刃の破損や飛散により死亡事故や重傷に至るおそれがあります。また、異常振動による疲労の蓄積や故障（メインパイプの折れなど）に至るおそれがあります。
- テンションスクリュー、ロックナットは作業時間とともに摩耗します。特に石や砂などの多い場所での作業では摩耗が早まります。
作業前にテンションスクリュー、ロックナットの摩耗を点検し、すり減り始めたら交換してください。
すり減ったものを使用すると刈刃が脱落して体に接触し、死亡または重傷に至るおそれがあります。



注 意



- 刈刃の点検をして目立ての状態が悪い刈刃は、研磨・目立てをご購入の販売店に依頼してください。または新品（当社純正部品）と交換してください。
刈刃の切れ味が悪いと体の疲労につながります。また、エンジンなど各部への負荷が過大となり故障の原因となります。

5. 生垣刈作業

⚠ 危険



- 電線の近くで作業をしないでください。

誤って刈刃が電線に接触すると刈刃から電気が伝わり感電して、死亡または重傷事故に至ります。

⚠ 警告



- エンジン始動時アイドリング状態で刈刃が動く場合は、直ちにエンジンを停止しご購入の販売店に修理を依頼してください。

アイドリング状態で刈刃が動くと、動いた刈刃に接触し重傷に至るおそれがあります。

⚠ 注意



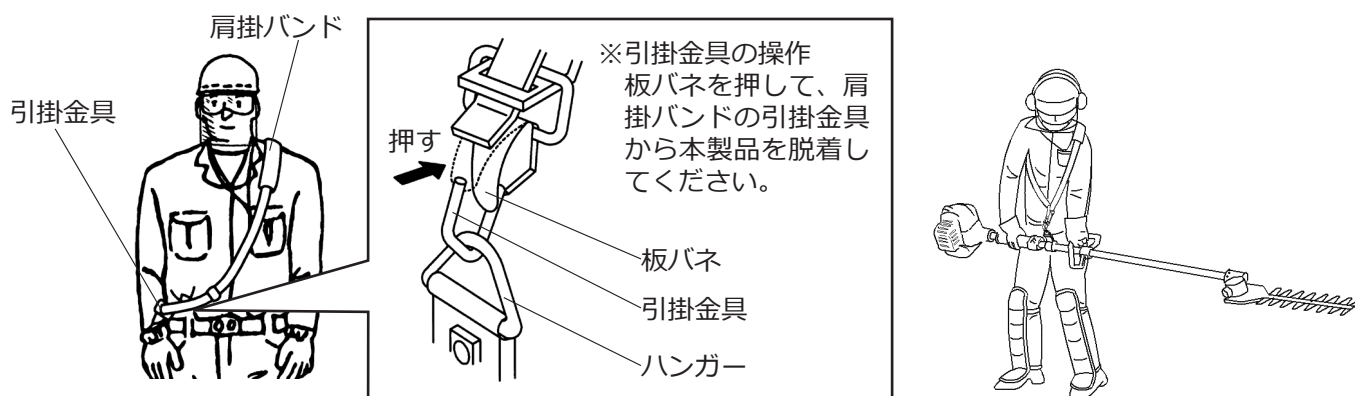
- 手足や体を冷やさない服装で作業してください。
手足や体が冷えると振動障害に至るおそれがあります。
- 高温や炎天下での長時間の連続作業を避け、定期的に休憩を取り、適度な水分補給を行ってください。
熱中症など、体に影響を及ぼすおそれがあります。

お願い

- 安全作業にとって効果的であるため、作業開始前に準備体操を行ってください。

(1) マルチカッターの保持

- ① 作業を始める前に、刃カバーを外してから作業をしてください。
- ② エンジンを始動して、刈刃が停止していることを確認してから本製品のハンガーに肩掛バンドの引掛金具を引っ掛けてください。



⚠ 注意



- 本製品が体の右側にくるように持ってください。
左側で持つと、やけどやけがに至るおそれがあります。

(2) 刈刃の作動・停止

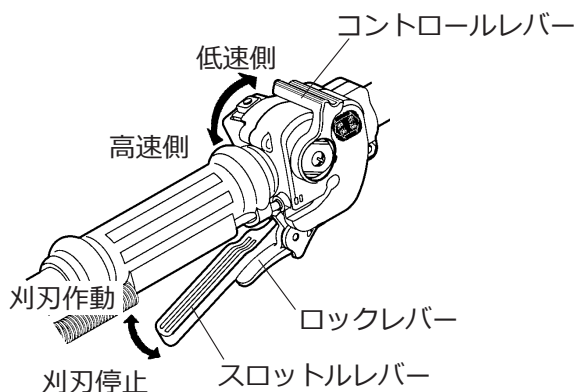
⚠ 注 意



- エンジンの回転を上げるときは、ゆっくりとトリガースロットルレバーを操作してください。急激に回転を上げると、本製品が刈刃の動きによって振り回され、事故に至るおそれがあります。
- 本製品に異常（異常音、異常振動、不具合）を感じたときは、直ちに作業を中止してご購入の販売店に修理を依頼してください。異常のあるまま使用すると、事故に至るおそれがあります。

1) 刈刃の作動

- ① ループハンドルと後グリップを両手で保持し、ロックレバーを握りながらスロットルレバーを握ってください。その際、ロックレバーを先に握るようにしてください。
- ② コントロールレバーを高速側にゆっくりと移動させると、エンジン回転速度が徐々に上がり、刈刃が動き始めます。刈刃の動きが適切になるように、コントロールレバーの位置を設定してください。（コントロールレバーが低速側いっぱい位置のままでは、スロットルレバーを操作しても刈刃は動きません。）回転を上げる場合は急激に上げずに、徐々に回転を上げてください。



お知らせ

- ロックレバーを握らないとスロットルレバーを握り込めない構造になっています。スロットルレバーを握る際は、ロックレバーを先に握るようにしてください。
- コントロールレバーを高速側いっぱいに調整した後スロットルレバーを握ったとき、コントロールレバーが少し低速側に戻る場合があります。これは内部の調整機構によるもので、エンジン回転自体は最高回転速度に保持されます。

2) 刈刃の停止

- ① コントロールレバーを低速側いっぱいに戻す、またはスロットルレバーを手から離すと、エンジン回転速度はアイドリング状態になります。刈刃はしばらく慣性で動いた後、停止します。
- ② 作業後は必ずコントロールレバーを低速側に戻してください。

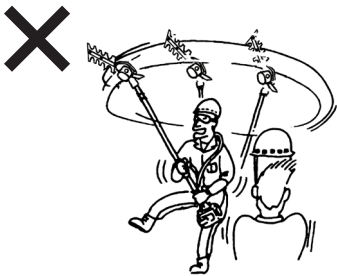
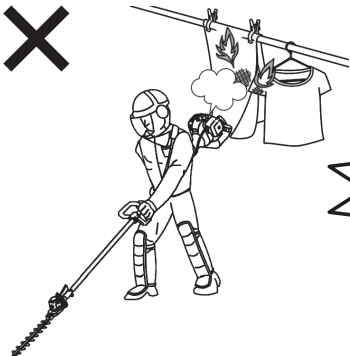
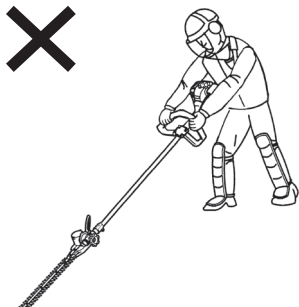
お知らせ

- コントロールレバーを戻さなかった場合は、もう一度スロットルレバーを握ると、また設定した速度に上がります。

(3) 生垣刈作業

 危 険	
	■ 周りに人や動物がいないことを十分に確認してください。万一、すぐ近くに人や動物がいることに気が付いたときは、決して動かないでください。まずエンジンを停止して、刈刃の動きが止まるのを確認してから対応してください。 周囲に人や動物がいる状態でエンジンが回転している本製品を持ったまま動くと、動いている刈刃に接触し、死亡または重傷事故に至ります。
	■ 作業中の作業者を呼ぶときは、離れた位置から合図してください。笛などを使用すると効果的です。 作業中に作業者が気付きにくい方向、特に後方から接近することは非常に危険です。作業者が接近する人に気付かず、エンジンが回転している本製品を持って振り向くと、接近した人を死傷させます。

警告

	■ 本製品をむやみに振り回したり、刈刃を膝より高く上げての作業はしないでください。 刈刃が体に近くなり、飛散物や刈刃の接触により重傷に至るおそれがあります。 ■ 針金や鉄くずなど硬いものを切らないでください。 刈刃の破損や飛散により重傷に至るおそれがあります。 
	■ 本製品の後方 1m 以内には、枯草、おがくず、衣類・布類、木造の建屋・壁などの可燃物、また人や動物に近づけないでください。いかなるものも、排気ガスをさえぎらないようにしてください。 排気ガスは高温のためやけど、変色、焼損などの他に火災に至るおそれがあります。また、マフラの排気口がふさがれると、排気ガスの高温でエンジンの損傷に至るおそれがあります。 ■ 枯草など可燃物の近くにエンジンを置かないでください。 運転中、アイドリング中のエンジンは高温です。またエンジン停止後しばらくの間も、エンジンは高温です。火災に至るおそれがあります。  排気ガスは高温!! 火災のおそれ!!  エンジンを止めないでからんだ草を取る ■ 生垣刈作業を中断して体から本製品を離すときは、必ずエンジンを停止してください。 停止していないと、本製品が振動で動き出し事故に至るおそれがあります。さらに、振動により燃料タンクの底が摩耗して燃料漏れが起こり、火災に至るおそれもあります。 ■ 体の前に本製品をもってくる作業姿勢は、やめてください。 エンジンが体に接近するために、やけどに至るおそれや排気ガスを吸引するおそれがあります。 
	■ 近くに子供がいる場合は、いたずらなどに注意してください。 エンジンが始動したまま本製品を置いて目を離すと、おもちゃと間違え大人の真似をして子供が重傷に至るおそれがあります。 ■ 安全のため、必ず必要な保護具を装着して作業を行ってください。 刈刃との接触や刈刃からの飛散物、本製品からの作業音により、視覚障害、聴覚障害、けがなどの重傷に至るおそれがあります。 ■ 作業を中断するときは必ずエンジンを停止してください。 生垣刈作業を中断した際、アイドリング中にエンジン回転速度が上がると刈刃が動き出すことがあります。意図しない刈刃への接触や飛散物により事故に至るおそれがあります。



警告



- 刈刃にひもや草がからんだ場合は、エンジンを停止してから除去してください。
停止していないと、ひもなどを除去した瞬間に刈刃が動きだし、重傷に至るおそれがあります。
- 木などに刈刃がはさまった場合は、エンジンを停止してから木などを押して、刈刃がはさまっている部分を広げて外してください。
エンジン回転中に無理に引き離すと、外れた瞬間に刈刃が動き出し重傷に至るおそれがあります。
- 刈刃が木などへの食い込みから外れたら、エンジンを始動する前に刈刃を点検してください。
損傷のある場合は交換してください。
損傷がある刈刃を使用すると、重傷に至るおそれがあります。
- 刈刃が石などの硬いものに衝突したときは、直ちにエンジンを停止して刈刃を点検し、損傷のある場合は交換してください。
損傷がある刈刃を使用すると、重傷に至るおそれがあります。
- 常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。
転落や滑落により重傷に至るおそれがあります。
- 火災などの緊急時に体から本製品を離す必要がある場合は、緊急離脱装置の赤色帯を上を引き上げてください。本製品が肩掛バンドから外れて落下しますので、十分注意してください。
刈刃が動いた状態で落下するので、刈刃が体に接触すると死亡または重傷に至るおそれがあります。



注意



- 刈刃で打つ、たたくなどの方法で生垣刈作業をしないでください。
刈刃や本製品の破損に至るおそれがあります。
- 本製品の刈刃を石などの硬いものに、何度も衝突させるなど繰り返し衝撃を与えないでください。
刈刃やギヤケース、他の部品などの損傷に至るおそれがあります。
- マフラの排気口をふさがないでください。
排気ガスによりエンジンの損傷に至るおそれがあります。



- 作業中、スロットルワイヤを木の枝などに引っ掛けないように注意してください。
スロットルワイヤが引っ張られると、予期しないエンジン回転速度の上昇が起き、けがに至るおそれがあります。
- 刈込枝の太さは 4.5 mm以下にしてください。
刈刃や本製品の破損に至るおそれがあります。

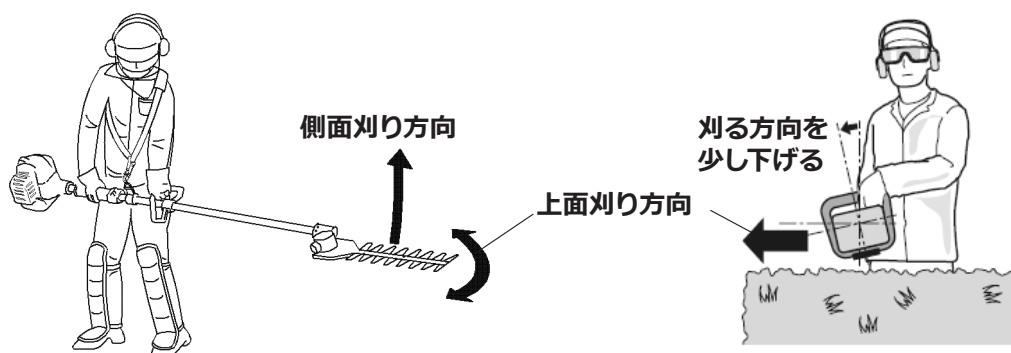
! 警告

	■ はしごの上や不安定な場所では作業しないでください。 転倒や転落などによりけがに至るおそれがあります。	
---	---	---

! 注意

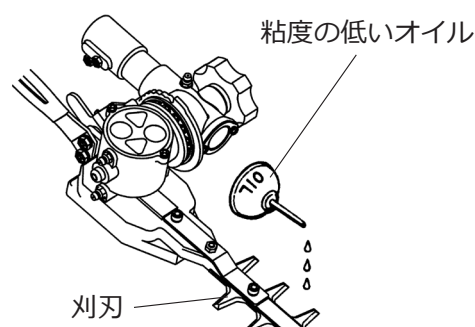
	■ 安定した作業姿勢の保持が困難な急傾斜地では滑りやすく危険なため、本製品を使用しないでください。 足を滑らせてけがに至るおそれがあります。
	■ 障害物に注意し、刈刃が当たらないようにしてください。 飛散物によりけがに至るおそれや、刈刃の損傷に至るおそれがあります。

- ① 上面を刈る際は、ループハンドルと後グリップを両手でしっかりと持ち、機体を水平に保ち、刈刃を刈り込む方向に対しやや傾斜させ、体を軸に円弧を描くように進行してください。
- ② 側面を刈る際は機体を垂直に保ち、刈刃を体からできるだけ離し、下から上へ刈り込んでください。



(4) 刈刃の注油

作業を中断したときなど、合間を見て刈刃の合せ面にオイルを注油してください。オイルは、粘度の低いオイル(市販の2サイクルオイル、4サイクルオイル、マシン油、マシン油など)を使用してください。



(5) 作業後

1) 作業終了時

- ① コントロールレバーを低速側いっぱいに戻してください。
- ② 1 分間程度冷却運転をしてください。
- ③ 刈刃が止まったことを確認して、エンジンを停止してください。
- ④ 保護（耐切創）手袋を装着して、刈刃の掃除、損傷有無の点検をしてください。損傷がある場合は、ご購入の販売店に修理を依頼してください。異常がない場合は刃カバーを付けてください。
- ⑤ エンジンが完全に冷えた後、本製品を掃除し、混合燃料を燃料タンクから燃料缶に排出してください。
- ⑥ プライマポンプを数回押して、キャブレタ内の混合燃料を燃料タンクに戻してください。
- ⑦ もう一度、燃料タンクの混合燃料を燃料缶に排出してください。
- ⑧ 刃カバーを外し、エンジンが始動するか確認してください。

■ エンジンが始動しない場合

そのままで問題ありません。2) 保管へ進んでください。

■ エンジンが始動する場合

エンジンの中に残っている混合燃料をなくすために、エンジンを始動した後、自然に停止するまで運転してください。



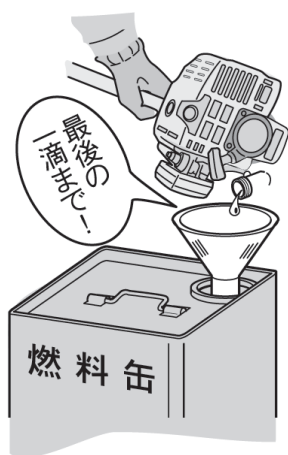
警告



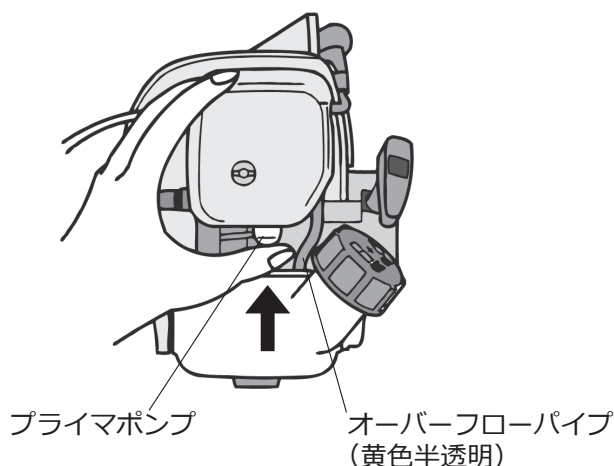
- 混合燃料を燃料缶に排出するときは、こぼさないように注意してください。こぼした場合はきれいに拭き取ってください。

こぼれた混合燃料に引火して火災に至るおそれがあります。

燃料タンクから



キャブレタから



2) 保管

刃カバーを付け、エンジンが完全に冷えてから保管してください。

お願い

- 本製品を長期間（1 か月以上）保管する場合は、28 ページの「7. 長期保管」を参照してください。

6. 点検・整備

お願い

- 本製品を安全にご使用いただき、また長持ちさせるために定期的に点検を行ってください。
- 安全にご使用いただくために年に1回、ご購入の販売店にて定期点検を行ってください。



警告



- 取扱説明書に記載されていない整備・調整は、ご購入の販売店に依頼してください。
正しい整備ができず、事故に至るおそれがあります。
- 点検で不具合がある、不調の場合は整備を行い正常な状態になってから使用してください。
必要な処置をしないと、本製品の破損や部品脱落などにより死亡事故や重傷に至るおそれがあります。
- 部品を交換する場合は、必ずメーカー指定の純正部品をご使用ください。
間に合わせのものや粗悪なものを使用すると、早期破損やゆるみ、異常振動などにより、事故やけが、本製品の故障に至るおそれがあります。
- 点検・整備は必ず点火プラグキャップを外してから行ってください。
突然のエンジンの始動により、重傷事故に至るおそれがあります。



注意



- 作業に関係がない人を近づけないでください。
刈刃に接触するなどにより、けがに至るおそれがあります。



- 本項に記載の点検・整備項目はすべて行ってください。
行わないと本製品が故障に至るおそれがあります。
- 本製品の点検・整備を行うときは、周囲を整理してから行ってください。
点検整備が適切に行えず、本製品の不具合の発生に至るおそれがあります。

■ 定期点検

下記の使用時間を目安に定期的に点検を実施してください。

お願い

- ご自身での点検に不安のある方は、ご購入の販売店にご相談ください。

点検項目		使用時間	参照タイトル
ギヤケース	グリス給油	10 時間ごと	26 ページの「(1) ギヤケースの点検・整備」

■ 整備

次ページからの作業手順に従って点検を実施してください。

お願い

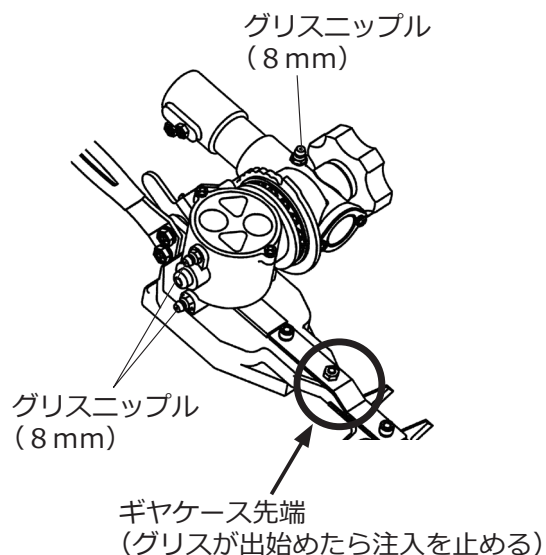
- この取扱説明書に記載された整備であっても専門知識や技能が必要となる場合があります。不安のある方はご購入の販売店にご相談ください。

(1) ギヤケースの点検・整備

 注 意	
	■ (1) ギヤケースの点検・整備は、ギヤケースが冷えてから行ってください。 冷える前に行うと、やけどに至るおそれがあります。
	■ グリス注入は指定時間ごとに行ってください。 行わないとギヤケースの破損のおそれがあります。

■ 補給

- ① 市販のグリスポンプ（グリスガン）と耐熱用のリチウム系グリスを用意してください。
- ② グリスポンプ（グリスガン）を使用し、グリスニップル（3箇所）よりグリスを注入してください。
- ③ ギヤケース先端（刈刃の根元）からグリスが出始めたら、注入を止めてください。



(2) 刈刃の点検・整備

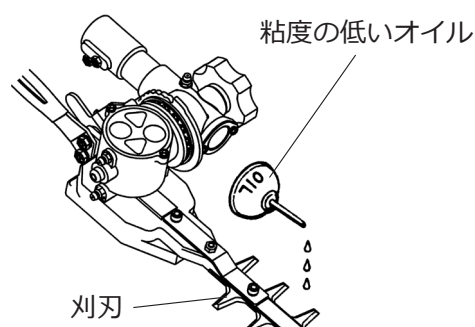
 注 意	
	■ (2) 刈刃の点検は、保護（耐切創）手袋を装着して行ってください。 刈刃の刃先に触れ、けがに至るおそれがあります。

1) 点検

- 作業開始前と作業終了後には、必ず刈刃を点検してください。
- 摩耗や損傷（刈刃の割れ、過熱による変色、カケ）のある刈刃は、新品（当社純正部品）と交換してください。

2) 注油

作業を中断したときなど、合間を見て刈刃の合せ面にオイルを注油してください。オイルは、粘度の低いオイル（市販の2 サイクルオイル、4 サイクルオイル、マシン油、マシン油など）を使用してください。



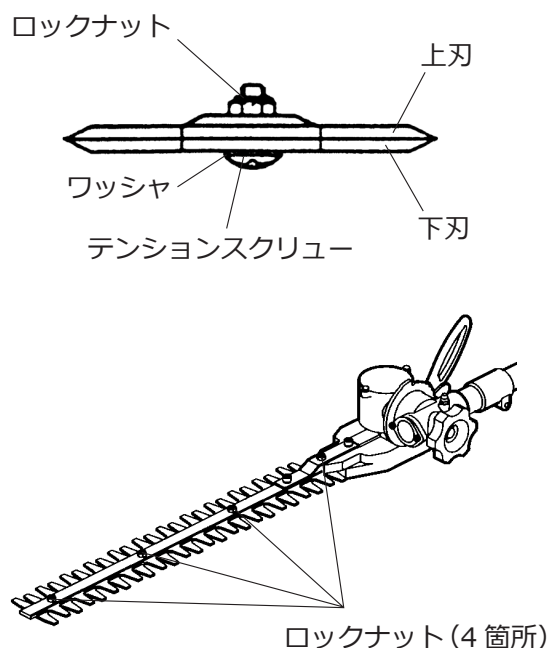
3) 上下刃の隙間調整

刈刃には、少し隙間があるように調整されていますが、刈刃が摩耗し、隙間が大きくなった場合には刈刃の隙間調整を行ってください。なお、刈刃の隙間調整は専門の技術を必要とします。ご自身で調整ができない場合は、最寄りの販売店に調整を依頼してください。

お願い

- 隙間調整を行わないと、切れ味が悪くなったり、刈った草が刈刃にはさまって故障の原因になります。
- テンションスクリューを締め込みすぎると刈刃が動かないことがあります。その場合は、テンションスクリューの戻し量を増やしてください。
- 刈刃を固定しているロックナットは特殊なナットですので、他のナットを使用しないでください。損傷している場合は、新品（当社純正品）と交換してください。
- 刈刃の調整を行っても直らないときは、刈刃を新品（当社純正品）と交換してください。刈刃の交換は、ご購入の販売店に依頼してください。

- ① パワーユニットに付属の両口スパナとコンビボックススパナを用意してください。
- ② 両口スパナでロックナット（4箇所）をゆるめてください。
- ③ コンビボックススパナでテンションスクリューをいったん締め付けた後、 $1/4 \sim 1/2$ 回転ゆるめてください。
- ④ テンションスクリューを動かさずに、ロックナット（4箇所）を両口スパナで締め付けて固定してください。このとき、ワッシャに遊びがあることを確認してください。



(3) ボルト・ネジの点検

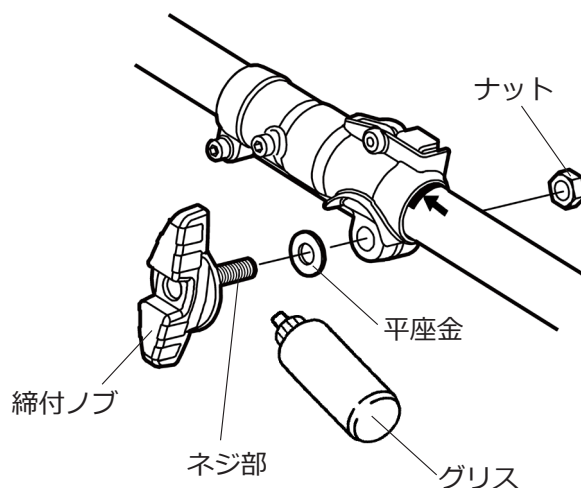
各部のボルト・ネジのゆるみを点検し、ゆるんでいる場合は増し締めしてください。また、摩耗していたら新品と交換してください。

(4) ジョイントパイプの点検・整備

締付ノブの動きが固く（シブく）なったら図のように分解し、ネジ部にグリスをごく少量塗ってください。

お願い

- 平座金、ナットなどをなくさないように注意してください。



7. 長期保管

- 本製品を長期間（1 か月以上）保管する場合は、下記の手順で整備をしてください。

本製品の汚れを落とし、**25 ページの「6. 点検・整備」**に記載の下記の（1）～（4）を行ってから保管してください。なお、点検・整備ができない場合は、ご購入の販売店または弊社サポートセンターにご相談ください。また、損傷箇所がある場合は必ず修理してから保管してください。

6. 点検・整備

- （1）ギヤケースの点検・整備
- （2）刈刃の点検・整備
- （3）ボルト・ネジの点検
- （4）ジョイントパイプの点検



注 意



- **刈刃に刃カバーを付けて保管してください。**
保管方法を誤ると、けがに至るおそれがあります。
- **長期間使用しない場合は、必ず混合燃料を抜き取って保管してください。**
混合燃料が燃料タンク内やキャブレタ内に残ったまま長期保管すると、混合燃料が変質してエンジンが始動できなくなります。**24 ページの「(4) 作業後」**を参照し燃料タンクを空にしてください。

お願い

- 各部を十分に清掃し、保管はチリやホコリが付着しないように注意して火気のない、高温や多湿にならないところに格納してください。

8. 故障と対策

(1) 動きは正常だが、切れ味が悪いとき

故障原因	対策
刈刃の隙間が大きすぎる。	刈刃の隙間調整を行う。 26 ページの「(2) 刈刃の点検・調整」 の項目を参照してください。
刈刃が摩耗している。	刈刃を新しいものに取りかえる。 26 ページの「(2) 刈刃の点検・調整」 の項目を参照してください。

(2) 運転中、エンジン回転が次第に下がるとき

故障原因	対策
刈刃の隙間が小さすぎる。	刈刃の隙間調整を行う。 26 ページの「(2) 刈刃の点検・調整」 の項目を参照してください。

お願い

- 上記についてお調べの上で、故障が直らないときは、ご購入の販売店または弊社サポートセンターにご相談ください。

9. 転売・譲渡・廃棄

転売・譲渡

- 本製品を転売・譲渡する場合は、取扱説明書も同時に譲渡してください。取扱方法についてよく説明し、取扱説明書をよく読むように指導してください。
- 転売先や譲受者に、製品の状況を説明してください。部品が不足している場合や修理が必要な場合は、修理をするように指導してください。
- 保証書も同時に譲渡してください(保証期間内の場合)。

廃棄

- お住まいの地域の自治体の指導に従ってください。

お願い

- 燃料やオイルを廃棄する場合は、お住いの自治体の廃棄物担当部署または産業廃棄物処理業者に相談し、所定の規則に従って廃棄してください。

10. 主要諸元

型 式 名	BMC264S+BMCA-HTS	
ハ ン ド ル	ループハンドル	
寸 法	全 長 (mm)	2270
	全 幅 (mm)	235
	全 高 (mm)	235
質 量 (kg)	6.4	
減 速 比	1:4	
刈 刃 形 状	両刃	
有 効 刈 幅 (mm)	405	
エ ン ジ ン	名 称	EE261
	形 式	空冷 2 サイクル正立ピストンバルブ式
	総 排 気 量 (cm ³)	26
	使 用 燃 料	潤滑油混合燃料
	使 用 潤 滑 油	市販 2 サイクルエンジンオイル
	混 合 比	50〔ガソリン〕 : 1〔FD, FC 級の市販 2 サイクルエンジンオイル〕
	燃 料 タ ン ク 容 量 (L)	0.55
	気 化 器	ロータリーバルブ式ダイヤフラム
	点 火 方 式	無接点マグネト点火
	点 火 プ ラ グ	CHAMPION CJ6Y 相当
	始 動 方 式	リコイル式 (R スタート)
	停 止 方 式	一次線短絡式 (押しボタン式)

- 改良のため予告なく仕様を変更することがあります。
- 質量は燃料、肩掛バンド、刃カバーを除いた質量です。

【1 日の作業時間について】

1 日の作業時間は、本製品または下表に記されている「周波数補正振動加速度実効値の 3 軸合成値」により、厚生労働省通達で次のように決められています。

周波数補正振動加速度実効値の 3 軸合成値が

- 10m/s² より小さい場合 : 1 回の連続作業は 30 分以内、1 日の作業時間は 2 時間以内。
- 10m/s² より大きい場合 : 1 回の連続作業は 30 分以内、1 日の作業時間は次式より算出した時間以内。

$$T = 200 \div (a \times a) \quad \begin{array}{l} T : 1 \text{ 日の最大作業時間 (時間)} \\ a : \text{周波数補正振動加速度実効値の 3 軸合成値 (m/s}^2\text{)} \end{array}$$

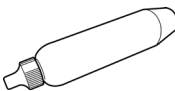
本製品の周波数補正振動加速度実効値の 3 軸合成値

型 式 名	BMC264S+BMCA-HTS
周波数補正振動加速度 実効値の 3 軸合成値 (m/s ²) ※ 1	3.4
質 量 (kg) ※ 2	6.4

※ 1: 『周波数補正振動加速度実効値の 3 軸合成値』は、ISO 22867:2011 により測定しています。

※ 2: 質量は燃料、肩掛バンド、刃カバーを除いた質量です。

11. オプション(純正品一覧)

オプション (別売)	()内は部品番号です		
	 グリス (211337)	 フォレストヘルメット (587526)	 ファンクショナルブーツライト
			サイズ c m 24.0(409571) 25.0(409572) 25.5(409573) 26.0(409574) 26.5(409575) 27.5(409576)

サービスと保証について

■ 保証書について

保証書はお客様が保証期間中に保証修理を受けるときに、ご提示いただくものです。所定事項が漏れなく記入されているか確認し、お読みになられた後は大切に保管してください。

本製品を改造した場合や取扱説明書に記載の正しい使用目的と異なる場合や、使用上の誤りは、メーカーの保証対象外になりますので、ご注意ください。

■ アフターサービスについて

○ 本製品を安全にご使用いただくには、正しい操作と定期的な整備が不可欠です。年に一度は、ご購入の販売店に点検整備を依頼してください。このときの整備は有料となります。

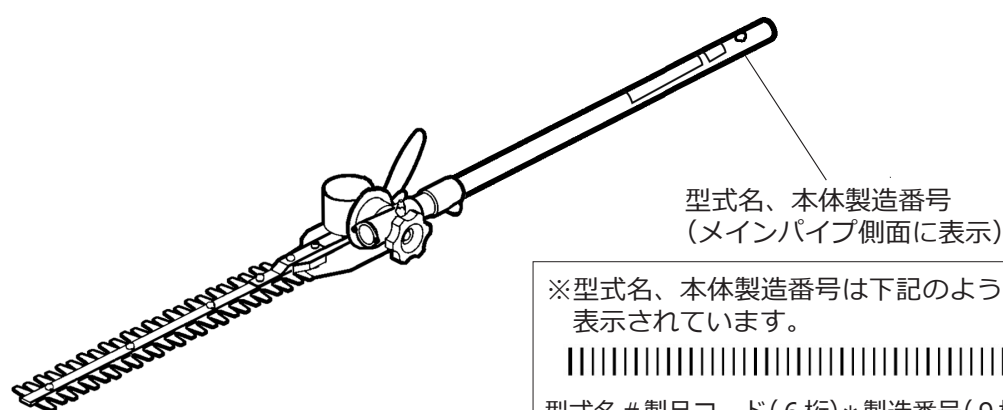
○ 始業点検時や使用中に不具合が発見された場合は、直ちに適切な整備をしてください。または、ご購入の販売店にご連絡ください。

○ 連絡していただく内容

● 型式名 _____

● 製造番号 _____

● 故障内容 なにが・どうしたら・どんな状態で・どうなったかを詳しくお話しください。



※型式名、本体製造番号は下記のように表示されています。

|||||

型式名 # 製品コード(6桁) * 製造番号(9桁)

■ 補修部品の供給年限について

本製品の補修用部品の供給年限は、製品の製造打ち切り後8年です。

ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合があります。補修用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。



しっかり点検！安心・長持ち！
末永くお使いいただくためにも
定期的な点検・整備をお勧めします。

詳しくはお求めいただいた販売店までお気軽にご相談ください。



本製品に関するお問い合わせなどは、ご購入の販売店にご相談ください。または、下記の全国共通の無料通話あるいは丸山製作所ホームページでもお受けいたします。

丸山サポートセンター

無料通話 0120 - 898 - 114

丸山サポートセンターホームページ
<https://maruyama-support.jp/>



受付時間 9:00 ~ 17:00(土、日、祝日を除く)

本製品に関してお問合せいただく際は、正確にご対応させていただくため、あらかじめ、下記の事項をご準備ください。

- ① 型式名、製造番号
- ② ご購入年月日
- ③ 販売店名

修理依頼、補修用部品・オプションのご注文は、
ご購入の販売店または取扱店へ依頼してください。



株式会社丸山製作所

本社 / 東京都千代田区内神田 3-4-15 〒101-0047

この取扱説明書の部品番号は 239245

P/N. 239245-09 25.4 IN